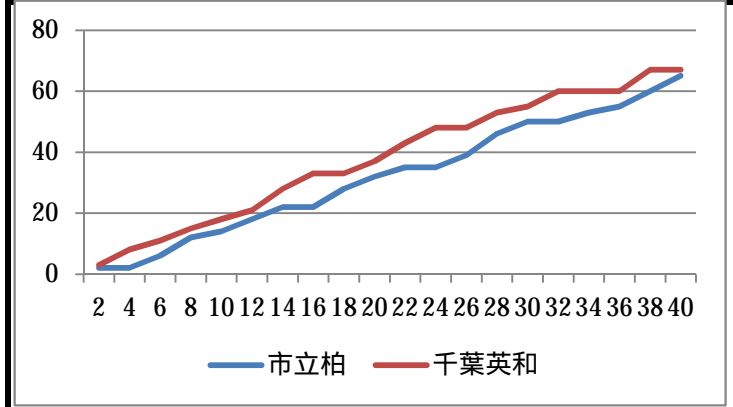


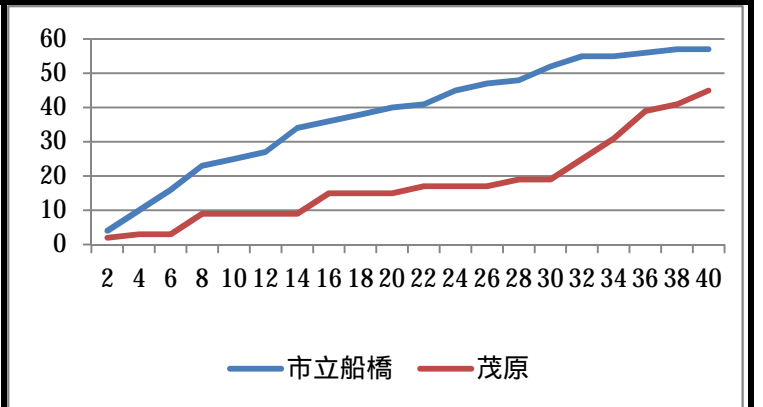
平成23年度千葉県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 ゲームレポート

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A1	市立柏	14	18	18	15		65
	千葉英和	18	19	18	12		67



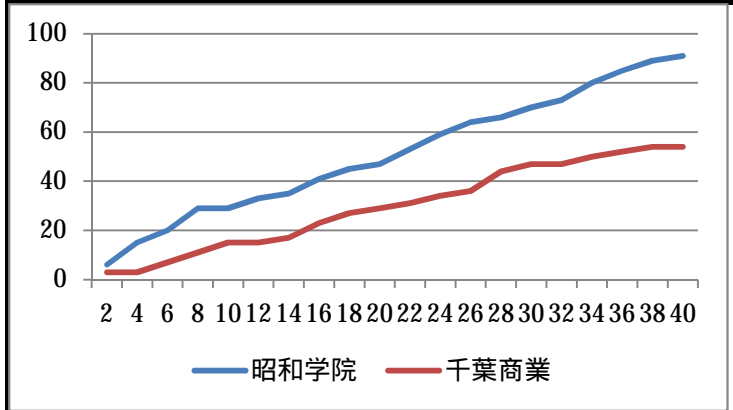
両チームマンツーマンでスタート。1Q前半は市立柏#4ヌイラが英和ディフェンスに抑えられ点が伸びず、英和は速攻やフリースローで得点を稼ぐ。後半は英和のミスが目立ち始め市立柏は点を詰めるが、英和はリードを保ち14 - 18で終了。2Q両チーム一進一退の攻防を繰り返す。英和リードのまま32-37で終了。3Q千葉英和が1 - 2 - 2ゾーンプレスでスタート。英和の#4藤岡のスチールやアシストで前半に得点を重ねた。1 - 2 - 2を崩し始めた市立柏は#13中野が3Pを決め流れを掴んだ。英和はタイムアウトを取り、立て直しを図ったが市立柏に流れが傾いたまま50 - 55で3Q終了。
フェイスガードされていた英和の#4藤岡は4Qでもディフェンスを崩すことができず、リズムを掴みきれず得点が止まる。市立柏は外からのシュートで2点差まで追い詰めたが、英和が逃げ切り67 - 65で英和が勝利した。

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B1	市立船橋	25	16	11	5		57
	茂原	9	6	4	26		45



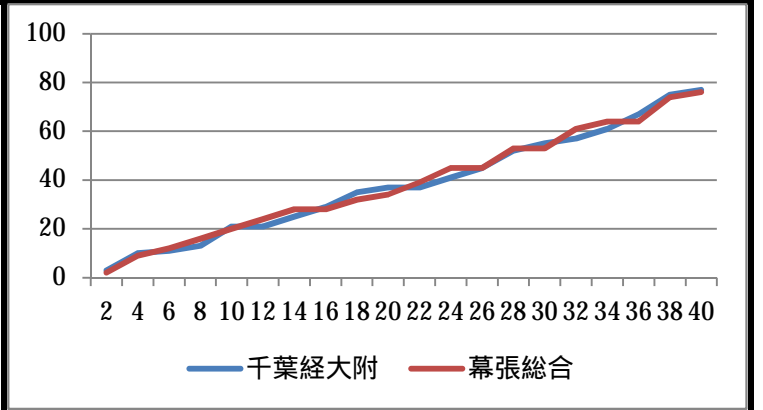
互いにマンツーマンでスタート。茂原は#7宮崎を中心に素早いパス回しをし、センター#4江口と#6鈴木で攻めるが、船橋の強いディフェンスとスピードに茂原は対応しきれず速攻や#4岩佐のシュート率も高く、船橋、一気に25対9と差をつけて1Q終了。2Q開始。船橋は3Pやゴール下で合わせをしていき、勢いは止まらない。一方の茂原も残り5分で一回目のタイムアウトからプレッシャーをさらに強化し、船橋のリズムを崩しつつあったが思うように攻めきれず、41対15と流れを変えることができなかった。いい流れの船橋は3Qもドライブからのあわせで少しずつ点を重ねるが、3Pはなかなか決まらない。その中、茂原は3Q前半は1-2-2、後半は2-2-1に切り替え、24秒をしっかりと使いながら攻める。だが、2Qに引き続き調子をつかみきれず52対19と船橋が大差をつけた。
4Qで船橋はメンバーを変えるがディフェンスのねばり強さは変わらない。しかしここに来て茂原#4岩佐と#7宮崎のシュート、#6鈴木のリバウンドなど徐々に調子を取り戻しはじめ、一気に点差をつめるが届かず、57対45と船橋がベスト4へと進んだ。

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A2	昭和学院	29	18	23	21		91
	千葉商業	15	14	18	5		52



昭和学院ハーフマンツーマン、千葉商業ゾーンで試合が始まる。立ち上がり、昭和学院は速いパス回しからの安定感のあるシュートで点が動いていく。逆に千葉商業はしつこいディフェンスを振り切れず思うようにシュートが入らないが、#7佐藤、#13中村のドライブで対抗する。2Qが共に点数が動いていく。3Qに入り千葉商業の#4斎藤の3P、ドライブが目立ち始めるが、昭和の落ち着いた速い攻めにより流れを掴み見れないまま3Q終了。
4Qに入ると昭和のメンバー交代の後からミスが多くなり、リバウンドが取れなくなった。対して千葉商業はディフェンスが積極的になり、リバウンドにも絡めるようになったが、前半に開いた点差は埋められず、91 - 54で昭和学院が決勝リーグに駒を進めた。

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B2	千葉経大附	21	16	18	22		77
	幕張総合	20	14	19	23		76

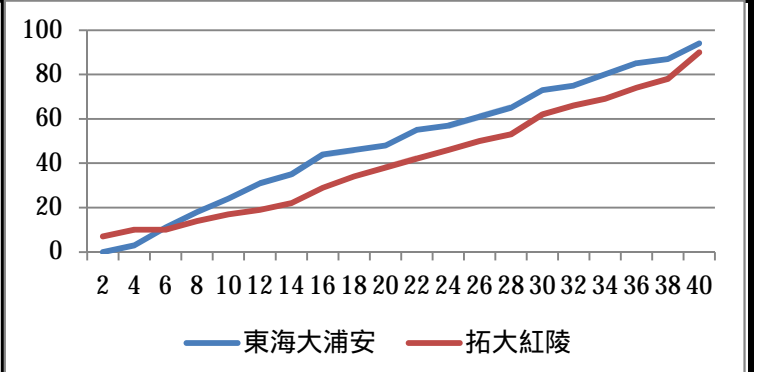
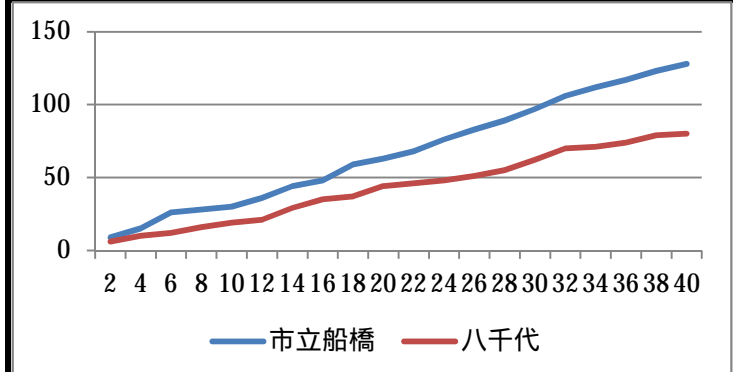


千葉経済、オールコートマンツーマン、幕張総合ハーフマンツーマンからスタートした。フリースローで経済が先制したが、すぐに幕総が入り返した。その後一進一退のシーソーゲームで流れの速い試合が続く。37 - 34幕総の3点リードで前半が終了した。3Q開始3分幕総が3連続で得点を重ね、流れが来たかと思われたが、経済#10渡邊の2連続シュートでまたも同点に持ち込んだ。4Qは一時9点差で経済が優位に立つも、ファールが重なり幕総にフリースローを与えてしまう。しかし、そのチャンスを生かすことのできない幕総はなかなか得点を伸ばすことができない。
試合終了のブザーが鳴るまで両者譲ることのない激戦が繰り返されたが、最後は77 - 76で千葉経済が勝利した。何が起ころかわからないこの県総体にふさわしいゲームであった。

平成23年度千葉県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 ゲームレポート

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A3	市立船橋	30	33	34	31		128
	八千代	19	25	18	18		80

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B3	東海大浦安	24	24	25	21		94
	拓大紅陵	17	21	24	28		90

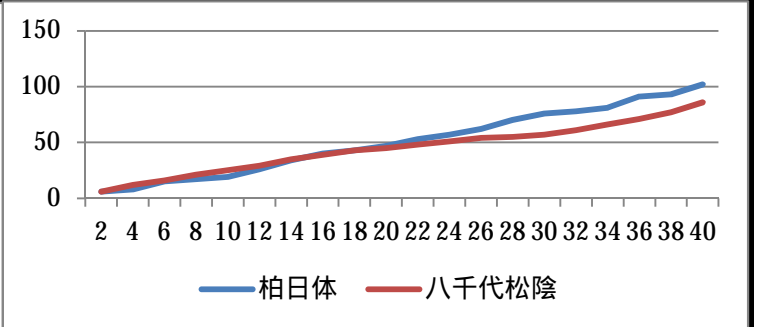
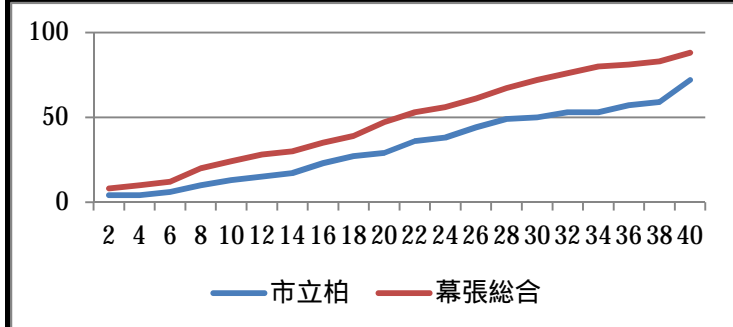


市立船橋#12田代の先制点からゲームスタート。八千代は2 - 2 - 1からマンツーマンに対し、市船は高さを生かしたプレーで切り込み得点につなげる。一方八千代はオールコートマンツーマンをなかなか崩せず30 - 19市船リードで1Q終了。2Qに入り八千代#4安田、#8久米田、#13山田の3Pを中心に点差を縮める。対する市船は外・中の合わせのプレーで攻めるが得点が伸び悩み、63 - 44で市船リードのまま前半終了。後半に入り、八千代は3Pを狙うが決まらず、市船がリバウンドを制し点差を広げる。4Qは互いに足が動かなくなりファールが重なりファールゲームになる。やいとはフリースローを決めるが市船の得点を抑えきれずリードが広がる。128 - 80でリバウンドを制し得点を確実に伸ばした市立船橋が勝利した。

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。拓大はスタート直後から着実に得点を重ねる。東海はスロースタートになりシュートを打つがなかなか得点につながらない。しかし、#4丸山の連続3Pにより流れを掴む。その後から#6篠原を中心に得点を加算し、逆転リードを奪う。拓大は高さのある当会のディフェンスに苦しみなかなか中へ切り込めない。外からのシュートも決まらず低迷する。一方、東海はそのシュートやドライブ、合わせプレーがよく決まる。リバウンドもシュートへとつなげ着々と加点。しかし、拓大は#15青柳の投入によりディフェンスのあたりが強くなる。10点差で迎えた後半は拓大が流れを掴んでいるように見えたが、東海も意地を見せなかなか点差は縮まらない。4Qに入り拓大のディフェンスがフロントコートでダブルチームを狙うようになるが、東海はうまく切り抜ける。しかし、東海#4丸山がケガで交代した残り3分から拓大が得点を重ね、点差を縮める。ファールゲームから3Pで逆転を狙った拓大だったが、東海は与えられてフリースローを着実に決め、94 - 90で逃げ切った。東海は#4丸山を中心に終始メンバー全員がコート内で声を掛け合い、関東予選時よりさらにまとまりが強くなった印象があった。

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A4	市立柏	13	16	21	22		72
	幕張総合	24	23	25	16		88

Game	Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
B4	柏日体	19	28	29	26		102
	八千代松陰	25	20	12	29		86



両チームはハーフコートマンツーマンでスタート。幕張総合は1回のオフェンスで確実に決め、ディフェンスリバウンドからの速攻などで得点を稼いだ。対する市立柏はドライブを試みるも幕張総合#5宍倉に阻まれなかなか得点が決まらず13 - 24で1Q終了。2Q市立柏は2 - 1 - 2で流れを変えようとしたが、幕張総合に崩されてしまった。幕張総合のペースで試合が進み29 - 47で終了。3Q市立柏は3Pを決めるがゴール下では幕張総合が力を発揮し、得点につなげ50 - 72で終了。4Q市立柏がオールコートマンツーマンで強く当たり、得点を重ね意地を見せるがファールが多く、結果的に幕張総合のフリースローへとつなげてしまい、72 - 88で幕張総合がベスト4へと進んだ。

試合開始直後、八千代松陰#7秋山のジャンプシュートに始まり、スペースがあれば#5染谷を中心にドライブからのジャンプシュートや合わせで試合を作っていく。それに対し日体も#4久保田を中心に#10王のプレイなどで攻める。両者譲らず25 - 29で松陰リード。2Q勢いが止まらない松陰であったが、ファールが重なると日体はそのチャンスを逃さず#5山崎のジャンプシュートや合わせなどで積極的に攻めを続け逆転する。しかし、松陰もそれぞれが点を稼ぎ45 - 47と引き離されない。3Q流れを掴み始めた日体は焦らず確実に#13笠井などが点を重ねるが、ファールは増えた。松陰はそのチャンスを生かし切れず若干流れが乱れ57 - 76で3Q終了。4Q、追いつきたい松陰は#9鈴木のシュートが決まったのをきっかけにスピードを取り戻す。だが、日体は#10王の力強いゴールしたシュートなどで勢いはさらに増し、突き放す。残り3分八千代松陰はディフェンスをゾーンに切り替え流れを変え、チャンスがあればどんどんシュートを狙うも20点差を縮めることはできない。最後までスピードが衰えなかった柏日体が86 - 102で勝利した。